

アイザワ リサーチ

【審査番号:151020-A1】

2015 年 10 月 20 日(火曜日)
藍澤證券株式会社 投資リサーチセンター
明松 真一郎

メキシコ経済とペソの動き

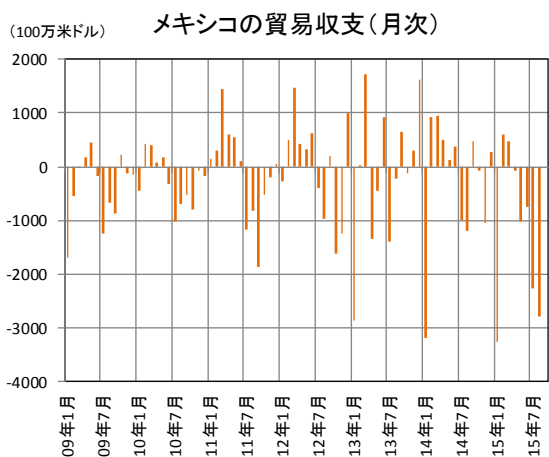
■ ■ ■ 緩やかな景気回復か？ ■ ■ ■

メキシコ経済はこれまで、原油価格下落による悪影響が指摘されてきたが、製造業を中心に底打ちから緩やかな回復を目指している。史上最安値から反発の兆しを見せているメキシコペソの動向を含めて、現状及び先行きについて考えてみたい。

■ ■ 貿易収支とメキシコの景気

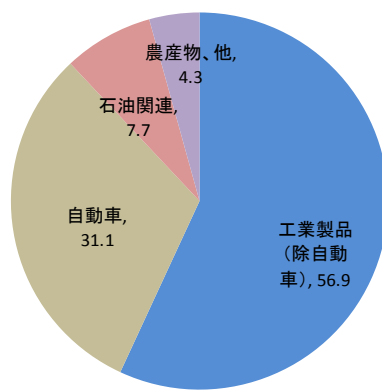
原油価格の動向より、工業製品の回復が重要

もともとメキシコは産油国で、歳入のおよそ 3 分の 1 を石油輸出収入に依存していたため、2014 年後半からの原油価格下落は、メキシコ経済に大きなダメージを与えた。2015 年 1 月の貿易収支は過去最大の 32.6 億米ドルの赤字に達した。メキシコイコール産油国のイメージが強いものの、実際の輸出品目をみると、石油の比率は 7.7% と 1 割以下で、原油価格下落だけが赤字拡大要因ではなく、自動車その他の工業製品の不振が貿易不振の大きな要因であったと言えよう。



(出所:ブルームバーグ、アイザワ証券作成)

メキシコの輸出品目構成割合(%)



(出所:ブルームバーグ、アイザワ証券作成)

■ ■ 北米の生産基地として米国への高い依存度

輸出入ともにメキシコに対する影響度は米国が圧倒的 1 位

メキシコは地理的な要因もあり、米国に対する貿易依存度が高い。特に輸

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。

出相手先をみると、米国向けは 78.6%に達している。良くも悪くも米国経済がメキシコの景気に多大な影響を与えているといえる。

メキシコの輸出入相手上位国の金額、シェア

輸出相手国上位			輸入相手国上位		
国名	輸出額	シェア	国名	輸入額	シェア
米国	2995億米ドル	78.6%	1 米国	1873億米ドル	49.1%
カナダ	105億米ドル	3.1%	2 中国	569億米ドル	16.1%
スペイン	72億米ドル	1.7%	3 日本	171億米ドル	4.5%
中国	65億米ドル	1.6%	4 韓国	135億米ドル	3.5%
ブラジル	54億米ドル	1.4%	5 ドイツ	135億米ドル	3.5%

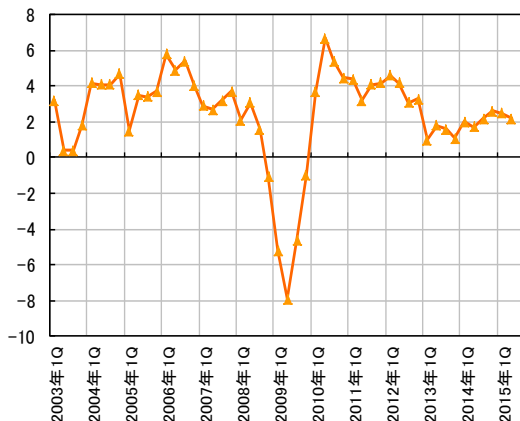
※2013年の統計による (出所: ジェトロ、アイザワ証券作成)

今後、米国の金融政策のメキシコへの影響度はより高まる？

金融政策の面でも、メキシコにとって米国の存在は大きい。7月1日には、メキシコ中央政府が金融政策決定会合の日程変更を発表した。今後の新しい日程は、すべて米国 FOMC が終了した直後に行なうこととなった。これまでは、メキシコの中央銀行が米国の前に政策金利を変更すべきか、それとも後に変更すべきかという議論が多くみられたが、今後この問題は生じないこととなった。メキシコの金融政策への不透明感の一部払拭が期待できるだろう。

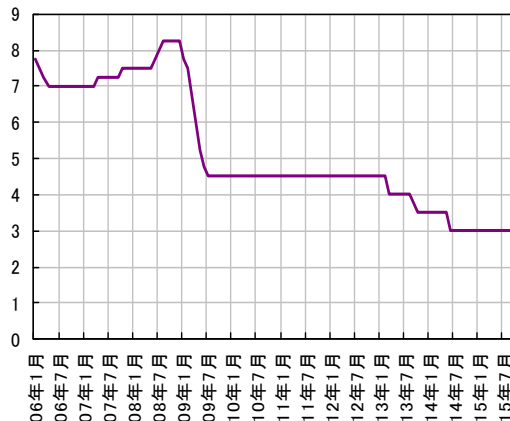
今後は、遅かれ早かれ、米国が利上げに転じることがほぼ確実視されている。メキシコはその際、米国に追随する形で利上げに踏み切ると推測される。両国の金融政策決定会合の日程から考えれば、米国 FOMC 直後に開催される 12 月 17 日のメキシコの会合は注目されそうだ。

(前年比: %) メキシコの実質GDP成長率



(出所: ブルームバーグ、アイザワ証券作成)

(%) メキシコの政策金利



(出所: ブルームバーグ、アイザワ証券作成)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。

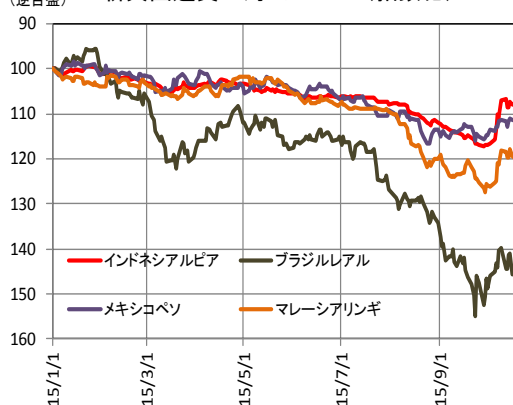
■ ■ メキシコ・ペソレートの今後の見通し

低位安定しているインフレ、構造改革の進展によって、メキシコ経済の回復は今後本格化

メキシコ・ペソレートは、これまで長期にわたって下落基調をたどってきたが、以下に挙げたようなメキシコ国内の変化や海外情勢などを背景に、今後は徐々に反発してくると予想される。

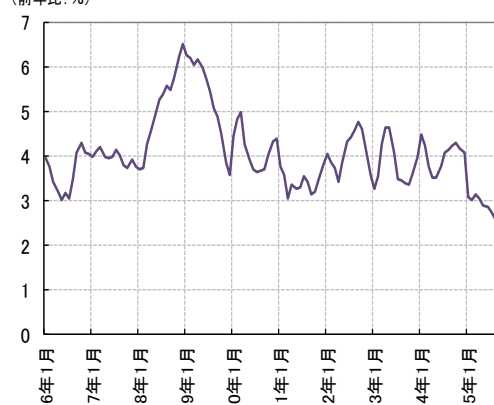
- ① 米国経済が安定的に推移することで、今後メキシコ経済に対して恩恵をもたらす。
- ② 資源価格下げ止まりから低位安定の動きをみせており、原油急落に伴う通貨不安が軽減されている。
- ③ 世界的にリスクオフからリスクオンの流れに変わる兆しを見せており、売られてきた通貨に買い戻しの動きが出ている。
- ④ インフレが安定しており、通貨安回避のための利上げ余地が大きい。
- ⑤ 新興国の中でも構造改革の進展スピードが速い。

(逆目盛) 新興国通貨の対ドルレート(指数化)



(出所:ブルームバーグ、アイザワ証券作成)

(前年比:%) メキシコのCPI



(出所:ブルームバーグ、アイザワ証券作成)

(ペソ/米ドル) メキシコペソの対ドル、対円レート (円/ペソ)



(出所:ブルームバーグ、アイザワ証券作成)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。

主なリスクと留意点

【株式】

株式は株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。外国株式は為替の変動等により損失が生じるおそれがあります。詳しくは契約締結前交付書面をご覧ください。

【投資信託】

国内外の株式等を投資対象としており、組み入れた株式等の値動きや、組み入れた海外の株式等における為替の変動等により損失が生じるおそれがあります。詳しくは契約締結前交付書面（投資信託説明書[交付目論見書]、補完書面）をご覧ください。

【債券】

金利水準や為替の他、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動や、有価証券の発行者または元利金の支払いの保証者の業務または財産の状況の変化などによって損失が生じるおそれがあります。詳しくは契約締結前交付書面・目論見書をご覧ください。

お客様にご負担いただく手数料等について

【国内株式】

国内株式の売買等にあたっては、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座： 約定代金に対し、最大 1.2420%（最大 147,150 円、2,700 円に満たない場合は 2,700 円）

インターネット口座「ブルートレード」： インターネット発注 最大 1,620 円／

コールセンター発注：約定代金に対し、最大 0.621%（最大 73,575 円、約定代金が 26,869 円以下の場合は 1,620 円）

コンサルティングネット口座「アイザワプラス」： インターネット発注 最大 4,860 円

コールセンター発注 約定代金に対し、最大 0.9936%（最大 117,720 円、約定代金が 489,130 円以下の場合は 4,860 円）

【外国株式】

(1) 委託取引の場合

外国証券の外国取引にあたっては、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座： 売買代金に対し、最大 0.8640%（2,700 円に満たない場合は 2,700 円（買付けの場合のみ））

インターネット口座「ブルートレード」： インターネット発注 2,160 円／コールセンター発注 4,320 円

コンサルティングネット口座「アイザワプラス」： インターネット発注 6,480 円／コールセンター発注 12,960 円

(2) 国内店頭取引の場合

外国証券の国内店頭取引の場合は、所定の手数料相当額を含んだお客様の買付け及び売却の単価を当社が提示いたします。

※ 外国証券の外国取引にあたっては、外国金融商品市場等における売買手数料及び公租公課その他の賦課金が発生します。外国取引に係る現地諸費用の額は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額をあらかじめ記載することができません。

※ 外国証券の売買、償還等にあたり、円貨と外貨を交換する際には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。

【投資信託】

投資信託の場合は商品ごとに設定されたお申込み手数料および信託報酬等をご負担いただきます。詳細は各商品の投資信託説明書をご覧ください。

【債券】

債券を募集・売出し等により、または当社との相対取引により購入する場合は購入対価のみをお支払いいただきます。また、外貨建て債券の売買、償還等にあたり、円貨と外貨を交換する際には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。

金融商品取引法に基づく表示事項

- 本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商 号 等： 藍澤證券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 6 号

（本社）東京都中央区日本橋 1-20-3

加 入 協 会： 日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関

： 特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）